

news release

スタンダード&プアーズのマニユライフ生命格付けが「AAA」に引き上げ

マニユライフ生命保険株式会社（本社：東京都調布市、取締役代表執行役社長兼 CEO ジェフ・クリックメイ）のスタンダード&プアーズ(S&P)の保険財務力格付けが、2006年11月7日、「AA+」から「AAA」へ引き上げられました。この格付け引き上げによりマニユライフ生命は、現在国内で事業展開している生命保険会社の中で、唯一、S&Pの21の格付け区分中、最高位の「AAA」格付けを得ている会社となりました。

マニユライフ生命の新しい格付けは、マニユライフ生命自体の強固な財務基盤に加え、マニユライフ・ファイナンシャルからの同社に対する強力なサポートを反映したものです。

マニユライフ生命の社長兼 CEO、ジェフ・クリックメイは S&P の格付け引き上げについて以下のようにコメントしています。

「最も信頼されている世界的格付け機関のひとつから最高位の格付けを得たことを非常に嬉しく思います。過去数年間にわたる革新的な商品のご提供、積極的かつ持続的な販売チャネルの拡充、厳格な事業費用管理等を通じて、マニユライフ生命の業績は顕著な成長を遂げ、一層強固な財務基盤を築き上げてきました。今後もマニユライフ生命は、マニユライフ・ファイナンシャルの最も重要なグループ会社のひとつとして、マニユライフ・ファイナンシャルの強力なサポートを得つつ、日本市場でのリーディングポジションを確実なものにするための努力を続けてまいります」

S&P はまたマニユライフ・ファイナンシャルの他の生命保険関連子会社の保険財務力格付けも「AA+」から「AAA」に引き上げました。この格上げによってマニユライフ・ファイナンシャルは、S&Pの21の格付け区分中、最高位の「AAA」格付けを得ている保険子会社を擁する上場生命保険会社としては、わずか2社のうちの1社となりました。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、最高位の格付けである「AAA」を取得しています（2006年11月7日現在）。マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2006年9月30日現在3,810億カナダドル（3,410億米ドル）となっています。マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（www.manulife.co.jp）